

2008（平成20）年度第3回東海地区協議会研究会運営委員会議事録

日 時 : 2008年9月30日（火）10時～11時30分
場 所 : 名城大学附属図書館5階会議室
出席者 : 加藤直美（愛知工業大学）、山田 稔（愛知淑徳大学）、
山本祐子（朝日大学）、三浦慶嗣（中京女子大学）、
岩本祥子（中部大学）、井上映子（豊田工業大学）、
紅露 剛（南山大学）、
國枝泰周、中澤章浩、角田久子（同朋学園大学部）

<敬称略>

（議題）

1. 第2回研究会について

- ・本日の第2回研究会のスケジュール等について別紙資料(日程表)に基づき同朋学園大学部附属図書館より報告があった。
- ・会場は事例発表までは図書館1階の視聴覚室で行い、休憩は5階会議室で、その後のグループ討議(A・B・Cの3グループ)は会議室を含め、図書館5階の3室を借りて行うこと、最後の全体討議は再び1階の視聴覚室に戻ることが確認された。
- ・アンケート結果報告についての質問は全体討議の中で、事例発表2題についてはそれぞれの後に質疑応答の時間を設けることになった。
- ・グループ討議のグループ別メンバーおよび司会進行、記録者、発表者の割振り等について別紙（参加者名簿）に基づき協議した。

その結果、議事進行者は各グループの運営委員のメンバーの中から1名ずつ選出すること、記録者・発表者は運営委員以外の一般参加者から1名ずつ選出することになった。（ただし討議の記録は各運営委員も同時に行うことを確認した）

記録者は、研究会終了後2週間以内に各グループの担当運営委員に対しメールで記録を送信することになった。（担当運営委員は送付先のメール・アドレスを記録者に知らせておく）この記録は後日、東海地区協議会研究会のホームページに掲載する。

発表者は最後の全体討議において各グループ5分ずつ発表を行う。

なおグループ討議の冒頭の自己紹介は、時間を取り過ぎないように自館名と名前および担当職程度にとどめることを確認した。

2. 第3回研究会について

日 程 10月29日(水) 13～17時（予定）

会 場 名古屋学院大学 白鳥校

テーマ 「図書館評価と満足度：利用者の望むサービス像」

内 容 ・当日の講師として慶応義塾大学理工学メディアセンターの上岡真紀子氏を招聘することになった。講演時間は90分程度で、13時20分から14時50分に行う予定である。

- ・事例発表①は「名古屋大学における蔵書アドバイザー制度」というテーマで、名古屋大学附属図書館の澄川千賀子氏に発表していただくことになった。（時間は30分程度の予定）
- ・次に、派遣・業務委託業者からみた図書館業務評価について事例発表をお願いしてはどうかという意見が出された。これを受けて、同朋学園大学部附属図書館から各業者に依頼してみるということになった。
- ・最後に、名古屋学院大学白鳥校に、図書館紹介を兼ねて「図書館運営に関する事例発表と図書館見学」をお願いしてはどうかという意見が出された。これについても同朋学園大学部附属図書館から名古屋学院大学白鳥校に引き受けていただけるかどうか交渉を行う。

3. 研究集会について

- 日 程 12月3日(水) 時間は未定
 (事例発表の時間の長さ、応募者数によって、開始時間を調整する)
- 会 場 同朋学園名古屋キャンパス D○プラザ蔵1階 ホールD○
- 内 容
- ・講演（1題）を行う。名古屋女子大学の尾崎氏より紹介を受けた「ネットコモンズ」との交渉を行っている。時間は90分程度を予定している。
 - ・事例発表（複数題）を行う。次の①と②は確定。
 - ①図書館サービス・システム委員会アンケート結果報告
 - ②新委員会ワーキンググループ会議報告
 ②については、今後の状況により経過報告として行われる場合あるいは報告自体を行わない可能性もある。
 - ・その他の事例発表については、9月12日付で募集文書を各加盟館に配布し、10月10日を募集締め切りとした。現在応募者はいないが、2題くらいの事例発表があればよいのではないかと意見が出された。
 - ・事例発表が2題以上応募が集まった場合は全体を10時から17時くらいの時間で行い、午前中に事例発表を行い、午後(13時以降)に講演等を行ってはどうかという意見が出された。
 ただし、その場合は昼食の手配等の問題があるとの意見があった。

4. 次回（第4回）運営委員会の開催日程について

- 日 程 10月29日(水) 午前10時～
- 会 場 名古屋学院大学 白鳥校